

A-93 成熟白ネズミによる低たん白と V. B₁ との
関係 (第2報)

低 V. B₁ 食における尿中及び臓器中の V. B₁
含量の測定

同志社女大家政 久次米哲子
○松下紀美子
阿部登茂子

1. 低たん白食に続き、V. B₁ について同様の実験を行なった。

2. 成熟白ネズミを3群に分け、V. B₁ 投与量を毎日 I 群は10γ, II 群は5γ, III 群は0γとし、5週間飼育をした。V. B₁ 投与方法として皮下注射を行ない、その期間体重測定及び尿中の V. B₁ 量を測定した。飼育後全血及び肝臓、心臓、腎臓等の臓器の V. B₁ 定量を行なった。

3. 体重は第1報と同じ傾向を示し、I 群では直線的に増加し、II 群は約3週間迄は順調に増加し、その後増減はみられなかった。III 群は約3週目より直線的に減少がみられた。

尿中排泄 V. B₁ 量については、I, II 群は日数が経過しても両者間に差がみられなかった。III 群においては I, II 群よりも少なく、日数経過と共に V. B₁ 量も減少を示した。

血中 V. B₁ 濃度及び肝臓、心臓、腎臓中 V. B₁ 含量は何れも I 群が最も高く、II 群がやや低く、III 群は顕著に低値を示した。臓器中で、V. B₁ 濃度が最も高いのは3群共肝臓で、腎臓、心臓では大差がみられなかった。